

history 1945-2025

病院のあゆみ



1945-1955

1945（昭和 20 年）5 月

農業会北信病院として創立 診療科目は内科、外科



病院本館玄関前



1947（昭和 22 年）9 月

内科診療棟増設、組合立岳南伝染病院開設



当時の病院職員。診療は内科外科の外来患者の診療から始まった。農村でも都会なみの治療が受けられるようにと無医村の巡回診療にも力を入れた。



第 1 回厚生連体育大会 当院当番にて行われる（湯田中にて）

1952（昭和 27 年）10 月 患者附添人炊事場設置

1953（昭和 28 年）4 月 柳原診療所開設
11 月 眼科開設

1954（昭和 29 年）5 月
結核病棟、中央検査棟、看護師寄宿舎移転改築



結核病棟（58 床）、産婦人科病棟、中央検査棟完成

開院当時全職員 常勤医師 4 名、計 21 名（前列右から 3 人が初代 藤岡院長）



初代院長 藤岡 定 1945 年 5 月～1946 年 2 月



第 2 代院長 小宮山 新一 1946 年 3 月～1948 年 9 月



1946（昭和 21 年）1 月 本館・外来棟完成、耳鼻咽喉科開設

1946（昭和 21 年）3 月 第 2 代 小宮山 新一院長就任

1948（昭和 23 年）4 月 第 1 回病院祭 開催
8 月 農工利連北信病院となる



第 3 代院長 佐 譲治 1948 年 10 月～1966 年 3 月



当時の出張演劇班



戦後初のメーデー

1948（昭和 23 年）10 月 第 3 代 佐 譲治院長就任

1949（昭和 24 年）9 月 結核病棟開設
12 月 飯山市柳原診療所開設



下水内郡柳原村（現飯山市旭）に診療所が開設され当院に診療が委託される

1950（昭和 25 年）8 月 長野県厚生農業協同組合連合会発足
病院運営委員会の設置

1951（昭和 26 年）1 月 病院給食を実施



結核、産婦人科病棟、中央検査室などの建設がはじまる

1954（昭和 29 年）6 月 産婦人科外来増築
10 月 小児科開設（地元出資 500 万円達成）

1955（昭和 30 年）11 月 病院開設 10 周年記念行事、病院祭
自己資金増成計画による出資増成運動展開（増資 198 万円達成）

1956-1965

1956（昭和 31 年）9 月 病院施設整備拡充計画による手術棟増築運動展開

1957（昭和 32 年）10 月 インターン指定病院となる

1958（昭和 33 年）1 月 北信総合病院と改称認可

6 月 中央手術棟・ラジオアイソトープ（コバルト 60）、治療施設完成



長野県 2 台目となる
アイソトープ・コバルト 60

1961（昭和 36 年）7 月 看護師寄宿舎完成、精神神経科病棟完成、精神神経科開設



1963（昭和 38 年）3 月 給食施設改築

11 月 病院全面改築計画



1965（昭和 40 年）5 月 創立 20 周年記念事業開催



11 月 木島平村全村健康管理開始



木島平村と当院の連携による
”村ぐるみ” 健康管理活動
はじまる

1957（昭和 32 年）8 月



8 月 4 日の北信タイムスの記事には
県内 3 施設目（信州大学医学部附
属病院、佐久総合病院）となる、コ
バルト 60 アイソトープの施設工事
費用 1500 万円の資金計画が手術
棟工事とあわせ具体化されたことが
大きく報道され、北信地域医療にプ
ラスとなる大きな期待が当院に寄せ
られている。

1959（昭和 34 年）2 月 健康管理部人間ドックを開設
一泊二日人間ドック開始



NHK テレビ番組「伸びゆく農村」
で「村の人間ドック」と題して当院
の人間ドックが全国に放映される

当院で全国初の 1 泊 2 日
人間ドックが始まる

1962（昭和 37 年）5 月 整形外科開設

1964（昭和 39 年）3 月 更生医療機関指定
4 月 附属准看護学校開校



准看護学校 1 期生戴帽式

1965（昭和 40 年）9 月 近代化第一期工事に着手
中央病棟（228 床・四階建）完成



中央病棟（鉄筋コンクリート地下 1 階地上 4 階）

1966-1975

1966（昭和41年）4月 第4代 永田 丕院長就任

1966（昭和41年）5月 精神神経科病棟増築



第4代院長 永田 丕 1966年4月～1986年3月

1966（昭和41年）10月 外来診療棟及び管理棟完成
泌尿器科開設



12月 院内保育所開設

1967（昭和42年）8月 医療福祉相談室開設

1969（昭和44年）4月 農村健康管理記録映画「農民その生活といのち」完成



当時の売店のようす



中野市農協の要請でエノキ茸冷房栽培者の健康管理に着手

1972（昭和47年）9月 皮膚科・泌尿器科を独立して開設

1973（昭和48年）2月 形成外科・美容外科開設

4月 脳神経外科開設

1974（昭和49年）シンチスキャナー導入



1975（昭和50年）4月
放射線科開設

1970（昭和45年）5月 看護師寄宿舎完成

10月 病院開設25周年記念行事



健康管理指導車導入

1973（昭和48年）9月 人工透析診療開始



1975（昭和50年）5月 近代化第二期工事に着手



1975（昭和50年）6月 3時間人間ドック開設



中央手術棟、小児医療センターICU、
(集中治療棟) 西病棟（186床・四階建）完成

1976-1985

1976（昭和 51 年）4 月 神経内科開設

6 月 内分泌内科開設

7 月 リハビリテーション科に作業療法施設増設

11 月 特殊外科開設

1978（昭和 53 年）9 月 附属腫瘍研究施設の開設



当時の中央待合室

11 月 消防法に基づく全館防災設備完成

1981（昭和 56 年）4 月 中野小学校院内学級開校



1982（昭和 57 年）7 月 人工透析室拡張



1983（昭和 58 年）4 月 麻酔科・ペインクリニック開設

1984（昭和 59 年）7 月 放射線医療センター完成

9 月 リナック放射線治療装置設置・シネアンギオ装置

シンチカメラ装置設置

10 月 心疾患基幹病院として県より指定

12 月 医事電算化全科本稼働

1977（昭和 52 年）7 月 ICU 開設

木島平村の全村健康管理活動が着々とすすむ。1977 年（昭和 52 年）からは「胃の集団検診」「婦人科健診」なども盛んに展開



1979（昭和 54 年）6 月 中央検査室にオートアナライザ設置、運用開始

1980（昭和 55 年）3 月 附属准看護学校の閉院

4 月 全身用コンピューター断層撮影装置
(CTスキャナー) 設置



放射線医療センター第 1 期工事で
全身用 CTスキャナーが稼働へ

5 月 リウマチ膠原病外来開設

6 月 心臓内科、腎臓内科外来開設

1982（昭和 57 年）6 月 心臓センター・腎臓病センター開設



12 月 内科外来内科外来棟増築



1983（昭和 58 年）2 月

中央待合ホール・外来棟・医事課拡張工事完成

1985（昭和 60 年）7 月 生体腎移植を実施

9 月 人工心肺装置、大動脈内バルーンポンプ設置



1986-1995

1986（昭和 61 年）4 月 第 5 代 高橋 義雄 院長就任



第 5 代院長 高橋 義雄 1986 年 4 月～1988 年 3 月

1986（昭和 61 年）11 月

保険衛生事業功労者「救急医療部門」で県知事表彰
内科外来棟上に南病棟（32 床）増築

1987（昭和 62 年）6 月 木島平村国保診療所受託診療開始
9 月 会議棟完成
心臓人工弁置換手術実施

1988（昭和 63 年）4 月 第 6 代 清水善次 院長就任



第 6 代院長 清水善次 1988 年 4 月～1994 年 3 月

1988（昭和 63 年）7 月 救急セミナー開催



当時の正面玄関

1990（平成 2 年）10 月 訪問看護車導入

11 月 リハビリ・食堂棟完成



1988（昭和 63 年）8 月 心臓血管外科開設
11 月 精神科作業療法棟完成

1989（平成元年）4 月 CCU・HCU稼働
12 月 人間ドック棟（12 床）新装オープン

1990（平成 2 年）3 月 病棟増築工事（南病棟・エネルギー棟）竣工



12 月 院内ポケットベル採用

1991（平成 3 年）6 月 電子内視鏡システムの導入
9 月 救急医療功労者厚生大臣表彰を受賞
10 月 カルテ・フィルム倉庫新築

1992（平成 4 年）4 月 木島平村診療所と改称
老人性痴呆疾患センターの設置
12 月 MRI棟完成
(MRI室・内視鏡検査室・病理検査室)

1993（平成 5 年）3 月 磁気共鳴画像診断装置（MRI）の導入
4 月 機器管理室新設
11 月 中央待合ホール増改築完成

1994（平成 6 年）4 月 第 6 代 磯村 孝二 院長就任

4 月 臨床工学科設立



臨床工学科技士



人工心肺装置

1995（平成 7 年）4 月 医師臨床研修指定病院に指定
5 月 創立 50 周年記念行事挙行
8 月 老人保健施設起工式



高松宮賜杯全日本軟式野球大会第一部野球部優勝

1995（平成 7 年）9 月 顧問 清水 善次氏就任

1996-2005

1996（平成 8 年）8 月 老人保健施設もえぎ竣工式 施設長 岡田三徳氏就任



1997（平成 9 年）10 月 立体駐車場竣工式



第 8 代院長 西村 博行 1997 年 11 月～2006 年 5 月



1997（平成 9 年）11 月 内科外来診察室、待合室改修



1999（平成 11 年）4 月 第2種感染症指定医療機関の指定（4床）
5 月 介護保険室設置
6 月 居宅介護支援事業所開設
9 月 インターネットホームページ開設
10 月 療養型病床群開設（中4）44 床
通年 コンピューター 2000 年問題対策

2001（平成 13 年）3 月 木島平村診療所の受託診療解除
8 月 第1回エンダー法セミナー
9 月 施設課・業務課・材料倉庫室完成

2002（平成 14 年）4 月 循環器科設置
7 月 第 52 回厚生連体育大会当番病院
9 月 消化器科・呼吸器科開設
オーダーシステム第1次稼動
地域ケアセンター移設稼動

2004（平成 16 年）6 月 療養型病床群廃止
7 月 亜急性期病床設置

1996（平成 8 年）8 月 訪問看護ステーション「なかの」
中野市在宅介護支援センター併設

10 月 長野県議会社会衛生委員会視察

1997（平成 9 年）1 月 地域災害拠点病院に指定
3 月 立体駐車場起工式
木島平村診療所完成開所式
デュアルヘッド型ガンマーカメラ増設
4 月 呼吸器外科開設
6 月 診療情報管理室開設
7 月 医薬分業による院外処方箋発行開始



10 月 ヘリカルCT撮影装置設置

1997（平成 9 年）11 月 第 8 代院長 西村 博行 院長就任
財団法人 日本医療機能評価機構の認定（一般病院 種別B）

1998（平成 10 年）2 月
長野冬季オリンピック志賀高原会場救護支援



長野冬季オリンピック聖火リレー

2000（平成 12 年）4 月 病院退職者の会設立
5 月 SPD稼働
シンボルマーク採用



7 月 病診連携室開設
9 月 精神科デイケア開設

2003（平成 15 年）2 月 CT(16 列)導入
3 月 オーダーシステム第2次稼動
4 月 精神科ナイトケア開始
6 月 精神科病床 193 床→130 床
12 月 日本医療機能評価機構受審

2005（平成 17 年）2 月 東病棟1階閉鎖（26 床）
4 月 北信州診療所開設
総合診療科開設
7 月 DSA血管撮影装置導入
10 月 病院創立 60 周年記念事業実施

2006-2014

2006（平成 18 年）4月 南病棟3階閉鎖（34 床）
5月 西村 博行院長退任



DPC 準備病院に手挙げ
6月 馬場 浩介院長代行就任
訪問看護ステーション「せせらぎ」開設

第 9 代院長 馬場 浩介 院長代行就任 2006 年 6 月 - 2007 年 7 月



2007（平成 19 年）4月 中央病棟2階閉鎖（55 床）
6月 7:1 入院基本料取得
7月 厚生連「経営管理システム（在庫購買）」稼動
8月 第 10 代 小田切 徹太郎 院長就任
12月 小児・周産期センター、循環器センター
脳卒中センター、腎・透析センター開設

2008（平成 20 年）4月 DPC 対象病院
5月 通院治療センター開設
10月 病院機能評価訪問受審
11月 院内保育園新築完成
MRI(1.5 テスラ) 増設

2010（平成 22 年）5月 経鼻内視鏡導入



8月 がん相談支援センター開設
9月 内視鏡システム更新導入

2012（平成 24 年）1月 電子カルテ導入
CT(64 列) 更新導入
4月 総合相談窓口設置
7月 訪問看護ステーション「きたしなの」開設
第 62 回厚生連体育大会当番病院
許可病床数 622 床から 561 床へ変更
10月 北信総合病院増改築工事安全祈願祭・起工式



2013（平成 25 年）4月 洞 和彦院長就任
8月 経営企画室設置
10月 病院機能評価訪問審査受審
新西病棟引取式



2013（平成 25 年）12月 西病棟 1 階に売店と JA 新店舗開店



12月 新西病棟稼働：消化器センター、呼吸器センター開設



12月 許可病床数 561 床から 517 床へ変更

2014（平成 26 年）11月 神城断層地震災害 DMAT 出動



2007（平成 19 年）4月 中央病棟2階閉鎖（55 床）
6月 7:1 入院基本料取得
7月 厚生連「経営管理システム（在庫購買）」稼動
8月 第 10 代 小田切 徹太郎 院長就任
12月 小児・周産期センター、循環器センター
脳卒中センター、腎・透析センター開設

第 10 代院長 小田切徹太郎 2007 年 8 月～2013 年 3 月

2009（平成 21 年）1月 地域周産期母子医療センター指定
肝疾患専門医療機関指定
もの忘れ外来開設
3月 長野県DMAT派遣に関する調印式
4月 24 時間電話医療相談開設
5月 放射線フィルムレス導入
12月 循環器X線診断装置更新導入

2011（平成 23 年）3月 東日本大震災 DMAT 出動（3月 11～13 日）
長野県医療救護班派遣（3～5 月）
5月 外来 1 階中央採血室（旧外科外来）設置・稼動
外科外来多目的外来に移動
10月 緩和ケア外来開設
12月 リンパ浮腫外来開設

2013（平成 25 年）
病院建設工事始まる（西病棟）



2013（平成 25 年）11月 新西病棟竣工記念内覧会



2014（平成 26 年）4月 病児・病後児保育を施設内に開設（中野市）
8月 CT・MRI棟引取式



2014（平成 26 年）9月 御嶽山噴火災害 DMAT 出動



11月 医療療養型病床 38 床稼働
HCU病床 12 床稼働

2015-2017

2015（平成 27 年）3月 地域がん診療病院の指定
4月 許可病床数 507 床から 499 床へ変更
8月 新外来棟引取式・内覧会



新外来棟建設のようす

2015（平成 27 年）9月 特殊歯科口腔外科開設



2015（平成 27 年）9月 新外来棟稼働



2016（平成 28 年）3月 信州食育発信、3つの星レストラン認定



2015（平成 27 年）11月 CT(320 列) 更新導入
MRI(3.0 テスラ) 更新導入



2016（平成 28 年）7月
救急診療棟・ホスピタルストリート・ヘリポート竣工



2016（平成 28 年）5月 熊本地震医療救護班派遣



9月 精神科デイケア移転・稼働
10月 精神科病棟移転・稼働



12月 新西病棟稼働：消化器センター、呼吸器センター開設

10月 老人保健施設もえぎ開設 20周年記念講演会開催



2017（平成 29 年）1月 増改築工事引取式
2月 竣工式・祝賀会



2017（平成 29 年）4月 災害対策救護センター開設
防災・災害対策課開設
人間ドック健診施設機能評価認定



6月 ヘリポート開港

9月 乳房用 X 線診断装置導入

2018-2021

2018（平成30年）4月 岳北消防本部から救急車両譲渡



2018（平成30年）9月 SEIJI OZAWA 特別出張コンサート



12月 透視・血管造影システム導入
2019（平成31年）3月 臨床検査科 多項目血球分析装置導入



2019（平成31年）4月
許可病床数 445床から 419床へ変更
地域包括ケア病棟（44床）開設
認知症疾患医療センター開設



認知症疾患医療センターメンバー

2020（令和2年）2月 新型コロナウイルス感染症対策委員会設置

3月 発熱外来設置
きたしなのサテライト化



2020（令和2年）1月 手術用顕微鏡導入



12月 長野県消防防災ヘリ「アルプス」離着陸訓練



4月 洞 和彦統括院長（第1代統括院長就任）

11月 正面玄関・西入口にサーモカメラ設置

12月 中野市の協力にて正面玄関前イルミネーション設置



初代統括院長 洞 和彦 2020年4月～2022年3月
統括院長制に移行

2021（令和3年）4月 新型コロナウイルス感染症院内クラスター（西8）発生

ECMO（体外式膜型人工肺装置）更新導入

病院ホームページリニューアル



更新された、ECMO（体外式膜型人工肺装置）

2021（令和3年）3月 新型コロナウイルスワクチン接種開始に向け
シミュレーション実施



新型コロナ感染症に対するさまざまな検査に対応（臨床検査科）



5月 CT診断装置（80列）更新導入

6月 オンライン面会開始

7月 外国人案内板（テレビモニター）設置

8月 コロナ即応病床 16床（西8）追加設置

（～9月30日）

9月 新PCR検査装置導入

10月 STなかの きたしなのサテライト移転

12月 医事システム更新

新型コロナ感染症対応の軌跡と教訓 試練のなかで育まれた連携と力

2020（令和2年）1月15日 国内で初となる感染が確認される

2020（令和2年）当時の ECMO（体外式膜型人工肺）

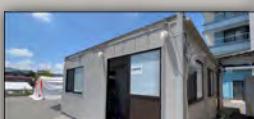
PCR検査
検体採取のようす



補助金により医療機器が増設・更新され、体制の強化がすすめられた



呼吸器



発熱患者対応 仮設プレハブ
医療用陰圧シエルター設置



毎日、発熱患者が多数来院、対応に追われる（2022年7月のようす）



2023（令和5年）5月8日 新型コロナ感染症が感染症法上の5類に分類される

当院で行われた新型コロナ検査件数・発熱外来患者数の推移（累計）

検査件数：76,914件、発熱外来患者数：32,090人



新型コロナ入院患者数の推移（累計）

総入院患者数：1,661人



2020（令和2年）2月 新型コロナウイルス感染症対策委員会設置
3月 発熱外来設置

2020（令和2年）8月 臨床検査科での検査のようす



2020（令和2年）正面玄関、西入口にサーモカメラ設置、検温誘導



2021（令和3年）3月 新型コロナウイルスワクチン接種開始に向けシミュレーション実施

職員接種実施



2021（令和3年）4月10日 HCU 新型コロナ感染症対策機能強化



2021（令和3年）5月 新型コロナウイルスワクチン住民接種開始



2021（令和3年）8月23日～2023（令和5年）4月26日
西8階病棟 北側・南側間仕切り設置 感染症対応病棟へ



2022（令和4年）

7月 保健所からコロナ病床確保フェーズⅢ（30床）への要請
(7月27日～10月3日)

12月 保健所からコロナ病床確保フェーズⅢ（30床）への要請
(12月15日～4月28日)

たくさんのご支援をいただき
ありがとうございました



2022-2024

2022（令和4年）3月
長野県難病医療協力病院指定

脊椎外科手術機器 O-arm(オーアーム) 稼働



2022年4月

第2代 荒井 裕国 統括院長就任

7月 保健所要請コロナ病床確保フェーズⅢ（30床）増床受諾
(7月27日～10月3日)

12月 保健所要請コロナ病床確保フェーズⅢ（30床）増床受諾
(12月15日～4月28日)

2023（令和5年）2月 共済連助成救急車輌（ドクターカー）納車・お披露目式



動画はこちら



5月 電動ベッド150台購入



6月 新型コロナ感染症対策・面会禁止から面会制限に緩和
田中 早苗 感染症御室師長 県知事表彰



10月 管理部女性職員制服自由化開始

中野ライオンズクラブ式典 病院屋上ライトアップ寄贈



2024（令和6年）1月 能登半島地震でDMAT4隊派遣



2024（令和6年）7月
県消防防災ヘリ「アルプス」との連携訓練



12月「血管造影装置アンギオ」運用開始



循環器編



脳血管編



2022年6月

洞名議院長が厚生連代表理事理事長に選出・就任
病院案内標識設置（国道292号線沿い 2箇所）



2023（令和5年）4月 広報課 開設

中野市地域包括支援センター北信総合病院開所



5月 中野市4人殺害事件発生

負傷者受け入れ対応、救急隊員こころのケア活動実施

8月 ポケットマニュアル2023（第1版）
制作、全職員配布

ウクライナ大使訪問



10月 長野県総合防災訓練 中野市開催



2024（令和6年）2月 中野市・山ノ内町・小布施町 議員研修会 開催



6月 岡澤 香津子薬剤部長 県知事表彰



9月 ER・HCU開設



10月 「放射線治療装置リニアック」運用開始



動画はこちら



2025

病院創立80周年
これからも地域とともに

Anniversary

病院創立 80 周年記念ロゴ制作



2025（令和 7 年）4 月
病院創立 80 周年 カウントダウン動画制作、公開



動画はこちら

カウントダウン動画
(ショートバージョン)



カウントダウン動画
(フルバージョン)



6月
北信州診療所 曽根 進所長 県知事表彰



7月 1日 北信総合病院附属北信クリニック開院



6月 18日 合同記者発表会



動画はこちら



病院創立

80

11月 15日 第 62 回病院祭



11月 創立 80 周年記念誌制作



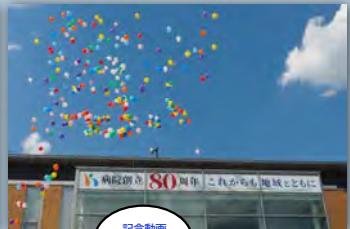
4月 病院創立 80 周年 特設ホームページ制作、公開



北信総合病院 80 周年 | <https://www.hokushin-hosp.jp/80th/>



5月 1日 病院創立 80 周年 記念セレモニー



動画はこちら

記念動画
(ダイジェスト版)



7月 12日、13日

北信総合病院が当番病院として第 72 回 JA 長野厚生連体育大会が開催される



記念 T シャツ (デザインロゴ入り制作)



10月 創立 80 周年記念対談企画

